



府中一小だより

令和2年5月11日

第2号

府中市立府中第一小学校

校長 関 修一

臨時休校の延長を受けて

校長 関 修 一

学校から子どもたちの笑い声がなくなってから2か月以上の日々が過ぎました。

連休明けからは、今年度の教育活動が再開できると準備をしておりましたが、緊急事態宣言の延長を受けて、5月31日までの休校延長が決定しました。

学校再開を心待ちにしていた方も多くいらっしゃると思います。子どもたちも同じ気持ちだと思いますが、私たち教員も子どもたちと会えることを強く願っています。学校休校の日々において自分はこの時間に何をすればよいのだろうと思うことが多々ありました。そんな時、新聞を読んでいて精神科医の香山リカさんのコラムに目がとまりました。

香山さんは、そのコラムの中で「自分も何か役に立ちたい。ウィルスとの闘いに参加したい」と社会の役に立ちたいと思っている人がたくさんいると思うが「とにかく家にいてください」といわれるばかりで「なににもできないで情けない」と感じている人もいるかもしれない。しかし、「家にいる」ことは、何もしていないのではなく今一番大切な自分が感染しないこと、誰かを感染させないことにつながると書いています。

そして、この時期に体調を整え、本を読んだり、考えを深めたりすることも、実はウィルスと闘っていることと同じことだと書いています。なぜなら、今は直接の治療に当たっている医療従事者の方たちが先頭に立っているが、感染症の流行が収まってきたら、今度は世の中を立て直すために、医療従事者以外の多くの人たちの知恵と力が必要になり、その時のために十分な備えをしておくことが大切だと語っていました。

私は、このコラムを読んで少し気持ちが落ち着きました。臨時休校になり、学校再開の準備はしているものの心のどこかに今のままでよいのだろうかという心の迷いのようなものがありました。このコラムを読んだ後は、「今は、自分ができることを行い、自分の出番が来る時を待ち、そのための準備をする時間だ。」と思うことにしました。

保護者のみなさんや子どもたちの中にも漠然とした不安がある方もいると思います。香山さんが言われるように「今は、自分の出番を待ち、力を蓄える時である」と考えることで気持ちが落ち着くかもしれませんね。

さて、5月11日(月)からの週は、各学年に週ごとの課題を出し、翌週に提出するというサイクルでの登校日を実施いたします。

課題として出すワークシートは、府中市教育会の各教科部会で作成したものや学校独自のものです。復習だけでなく、新学年の内容についても課題として出していますので教科書を中心に進めていただけたらと思います。

登校日は、週に1回毎週月曜日を予定しています。ご家庭の都合で、登校できない場合は、ホームページからダウンロードできるようにもしてあります。

詳しいことは、別紙にてお知らせいたしますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。